

きらり  
1周年おめでとう!!



■  
広報

こほりかい

春号

○発行/湖北会 広報室(法人本部)

○発行者/赤井 耕太郎

○住所/滋賀県長浜市湖北町富田431-5

○発行日/平成26年3月25日

## 理事長

### 『雑感』

#### ～26年度への想い～

平成26年度の事業がまもなく始まります。

湖北会の規模も大きくなり年間の予算は約13億円、支援員は約280名になりました。その中で支援に関わっている職員の質の向上を目指し、良い支援の有り方について、他の法人の良い所を吸収したり、積極的な研修への参加を促し、利用者へのより良い支援を提供できるようにと考えております。

また、保護者においては親なき後の事を考え、残された利用者が立派に社会で生きていけるために、成年後見人制度への活用をはかり、後世に憂いの残らないようにしたいと考えております。

湖北まこもの建物も築32年となり、老朽化が激しくなるとか震度7の耐震は確保しておりますが、地盤が軟弱で、水の湧出などにより機器及び建物の破損が激しく、早急に建て替える必要があると考え、準備を進めていく予定です。

今年4月に建設準備委員会を立ち上げ、利用者が住みやすい環境を提供できるような建物を検討して欲しいと願っております。

また、GH・CH等の検討需要も高まり、ここ1～2年でしっかりと充実させていきたいと考えております。

今後も、皆様の湖北会へのご配慮のほど宜しくお願い致します。

## 湖北まこも紹介

介護技術を学ぼうと外部から講師を呼んで勉強会をしました。

湖北まこもは、入所施設事業と生活介護事業の2つの事業に取り組んでいます。

今年は、職員の専門技術を上げようと、外部から講師を呼び、リハビリ研修、虐待研修に取り組みました。

また、発達障害者支援者実施研修に2名職員を派遣、東やまたレジデンスで2週間の実施研修に参加し、法人内で報告会にもとりくみました。



豆まきの様子です。



外出先での様子です。

## あそしあ

- ★ 歯科健診で受診が必要（虫歯・歯石除去）と言われた利用者さん全員の方が町の歯医者、長浜市民病院、口腔衛生センターを利用し歯科通院に行く事ができました。
- ★ 皮膚科受診が必要な利用者さん全員皮膚科受診に行くことができました。



### 《アート面》

- ★ 利用者さんの作品展を開きました。
- ing展 2回  
あそしあ展（no-ma）  
銀行での作品展示  
お寺でDEArt



no-ma作品展



no-ma作品展



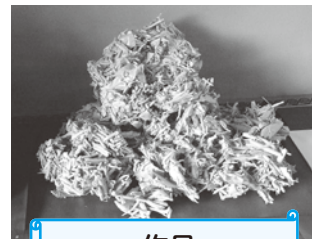
銀行作品展示



お寺DEArt



作品



作品

どの作品展もとても好評でした。26年度も作品展などをおこないみなさんに喜んでいただきたいと思っています。

## ワークスさかた

平成21年4月より「おいでやす長浜」みてみ・一歩を平和堂長浜店5階で業務展開してきましたが、平和堂の移転に伴い諸般の事情に鑑み、3月16日で退店しました。観光客や地元の方々、また湖北会の利用者・ご家族に支えられ5年の長きにわたり営業できましたことに感謝申し上げます。常連さんでもでき、また、利用者の方もすっかり店員としての自覚も出てきて、益々伸びようとされていたところでの閉店は本当に残念です。

しかし、店舗しか知らない利用者の方も、2月上旬から新たな作業に取り組みを始めており、まさに「新たな一歩」を踏み出しています。

もう一つの店舗「ぱんげあ」も1月下旬に4周年を迎えました。いろいろな企画を毎月行っており、順調にお客様に来ていただいています。人口増加が著しい近江の地で新しい店舗が増える中、ますますきびしい状況下ですが、近くに来られたら、ぜひお立ち寄りください。



ありがとう  
「おいでやす長浜」



いらっしやいませ  
「ぱんげあ」



新商品「つぶら」も  
よろしく!

## いぶきやま

昨年7月から8月にかけて、旧豆腐工房を生活介護の作業場所にリフォームしました。

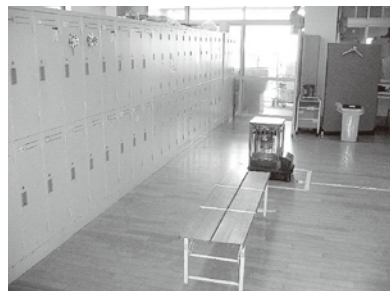
以前の作業場所は、パーティション1枚で就労Bと生活介護を分けていたので、話し声が聞こえて作業に集中して取り組めない方がおられました。そこで、旧豆腐工房をリフォームして生活介護の作業場所とし、今まで共同で使っていた作業場所を、就労Bの作業場所にしました。それぞれの作業場所は広々と使いやすくなり、作業に集中出来るような環境になりました。また、生活介護と就労Bの作業場所の間に休憩スペースをもうけて、利用者さんの交流の場が出来ています。



旧豆腐工房をリフォームして  
生活介護作業場所



広々になった就労Bの作業場所

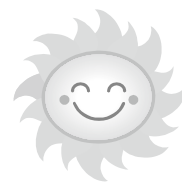


休憩スペース

## ふくらの森

### 《生産活動》

定期的にいただく『下請け作業』は順調で、安定した収入・作業量を維持できています。ご利用者さんの安全を第一に、お一人おひとりに合った作業環境や作業方法がより良くなりますように、『手を変え品を変え』日々奮闘の毎日です。ご利用者さんが、『やりがいを持って』取り組んでいただければ幸いです。



### 《創作活動》

今年度は、ご利用者さんの力が園芸活動で発揮され、『じゃがいも・さつまいも』が豊作の年でした。

『湖北まこも』の広い畑を借用し、移動時間を入れると短時間での活動になりますが、ご利用者さんの『やる気』と『経験』は職員の想像をはるかに超えていました。また、役割を分担する事で、日頃園芸に参加されていなかったご利用者さんにも携わっていただけました。収穫後、『さつまいもパン』『大学いも』『コロケ』などに調理し大満足!! 園芸に限らず、ふくらの森内にとどまらず、色々な所に出かけて、より幅の広い創作活動(楽しめる活動)が実施できると・・・と日々思案しています。

看板にも、みなさんの気持ちが  
こもっています!



たくさん実って「うわあ〜  
すご〜い!」の大歓声でした。



## ワークスさぼてん

長浜合同青果様から頂いている野菜の袋詰め作業が今年の5月から水曜日も仕事を頂けるようになり、毎日作業に励んでいます。夏場は、野菜の他にも果物（みかん、リンゴ）も加工させてもらいました。特にリンゴは扱いが難しく、少しの事でも傷や擦れ痕が残り落としてしまうと不良になってしまうので、慎重に慎重に作業に取り組みました。簡単な作業ではないですが繰り返すことで、利用者の方も作業になれて次第に作業量が増えました。

また今年度は、さぼてんから3名の方が一般企業・A型作業所に行かれました。一般企業・A型作業所はさぼてんとは環境が違い厳しいことが多いかと思いますが、頑張ってもらいたいと思います。

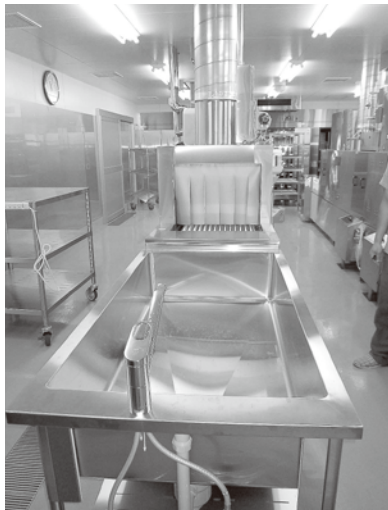
そして、今年度は余暇の充実にも力を入れ、土曜日の午後は出来る限り外出を計画し、平日も時間があれば、近くの道の駅やスポーツの森などに出かけました。生活介護の施設に比べると行事の数が少ないので空いた時間に少しでも余暇を提供し、仕事と余暇支援の両方を充実させていければと思います。



## やまぶき

就労継続事業B型では、新規の施設外就労として8月より食器洗浄の作業（ミールサービス谷口様）に取り組んできました。週に一回の作業ですが、通常の出勤時間よりも早く送迎が始まり、帰りも遅くなるなど、また、一日を通してほぼ立ちっぱなしの作業であるため、利用者の方には大きな負担となることが懸念されました。しかし、職員の心配は杞憂だったようで、十分とは言えないまでもなんとか皆さん頑張ってくださいています。職員ともども、会社の期待に応えるべく頑張っていきたいと思います。

生活介護では、作業場所の環境整備やスケジュール作成等、発達障害の方の個別支援に力を入れてきました。まだまだ試行錯誤の段階ですが、利用者の方にわかりやすく、生活しやすい環境を整えていきたいと思っています。



食器洗浄作業



スケジュールの一例

# ライフまいばら

## うちの きらい よいところ

今年度、ライフまいばらは大きな変化のあった年でした。ワークスさかたの移転にともない、就労継続支援B型がなくなり、7月より生活介護単独の事業所として新たなスタートをしました。そんな中でそれぞれ一人一人に合った支援・活動を充実させていこうと取り組んでいます。



アート(芸術活動)や、より障害の重い方を対象とした音楽療法「リズム」など独自に新たな活動をスタートさせました。



玄関ホールや食堂を彩る開所日の工作で作った楽しい作品♪



旧はずみ製造室は改装されて、落ち着いてすごせる空間に生まれ変わりました。



支援の充実のために、外部の研修への参加やコンサルなどを通じて、職員一人一人の専門性の向上を目指しています。研修後はそれぞれがそれを生かそうと、何かしら新たな取り組みへ少しずつつながり始めています。



# ゆるり

## 《ゆるりのいいところ》

- ① それぞれに合った余暇や創作活動。
- ② 職員同士で「こんな様子やったよ。」と共有できるチームワーク。
- ③ 音楽療法士を中心としたゆるりの音楽活動。
- ④ 職員が積極的に研修や勉強会に参加し、専門性を磨く。
- ⑤ 建物が広く・明るく暖かい雰囲気。
- ⑥ お互いが笑顔で過ごせる、よりよい支援。

ゆるり 吉川 敦

ゆるりでの力を入れていることそれは支援です。1週間1日が単調にならず楽しみ、休憩が苦手な人も安心して笑顔になれる短時間の余暇活動を紹介します。うまくいかないこともあります。現状維持で納得しないゆるりです。



玉入れ



事務所で買い物



黒ひげくん



ストラックアウト



ゆるきやらクイズ



ガオガオくん



魚釣り



水やり



CDの選曲

# あ〜と

## 『地域に根付いた支援へ』

地域支援員・リーダー 福永 洋二

今年度より、あ〜とに就き一番に気になった事は、事業所名でした。以前、利用されていた方が「あ〜と(ありがとう)」と言われた言葉をそのまま事業所名として揚げたと聞き、地域に根付いた事業所名だと誇りに感じました。

あ〜とでは、たくさんの家族の方や関係機関の方々と関わり、たくさんの方とサービス提供を通してお会いする事ができました。

今年度は新事業所でのサービス提供となり気持ちも一新しました。長期休暇中(夏休み)では、昨年よりも人数が増え活動内容も増え、色々な活動ができました。地域資源を活用した活動内容や工場見学、電車に乗ってのお出かけ、普段では見ることができないたくさんの“素敵なお顔”を拝見する事ができました。

26年度には、新事業「放課後等デイサービス」をスタートし、身近な地域で支援を受けられるよう取り組みたいと考えています。また、アートプロジェクト(アール・ブリュット)にも力を注ぎ、創作作品の展覧、展示を企画できる運びになるよう取り組みたいと考えています。



新プレイルーム



動物とのふれあい



工場見学



## 湖北会法人内研修



リーダーのための人づくり・組織づくり研修  
9月~2月全5回 13名参加

コミュニケーション・マナー・ホスピタリティ向上研修  
9月~2月全5回 21名参加

救命救急講習  
7月全2回 新任職員を中心に 30名参加

虐待防止研修  
1回目  
社会福祉法人京都ライフサポート協会理事長 樋口幸雄氏講演  
10月8日 職員他259名参加  
2回目  
社会福祉法人北摂杉の子常務理事 松上利男氏講演  
2月25日 職員他260名参加



## ようこそきらりへ♪

昨年4月にオープンし今年の春で早1年となります。ホーム内の雰囲気をご紹介します。

お風呂場



リビングでの様子



きらりは女性7名で共同生活を送っておられます。平屋建てバリアフリーでゆったりとした空間になっており、温かみのある雰囲気です。個々の居室は自分好みにレイアウトされています。休みの日には近場へ買い物や図書館、またサービスを利用し外出に行かれたりと、個々に楽しまれたり、またホーム皆さんで出かけられる事もあります。『楽しいな!』『嬉しいな!』と感じてもらえ、笑顔のあるホーム生活を送っていただけるよう心がけていきたいと思ひます。

### 編集後記

年度末の慌ただしい中、26年度に向けて、バタバタと準備しておりますが、思ったように仕事も進まず、気持ちだけが焦っている今日この頃です。

今回は、各事業所の副サービス管理責任者の方に、各事業所の自慢話をテーマに原稿を書いて頂きました。

原稿をまとめている中、どの事業所も良い自慢話が沢山あり、私の事業所も負けてられないと背中を押される想いです…

当初より心配されておりました雪の方も、思ったよりは積もることもなく、「比較的過ごしやすい冬だったな」と、ホッとしております。

次年度に向けて、各事業所が必死になって準備を進めていると思ひますが、法人の永遠のテーマであります『すべてはあなたの笑顔のために』を胸に刻み、次年度も利用者により良いサービスを提供できますように、頑張っていきたいです。

26年度も湖北会が一皮も二皮もむけ、更なる飛躍が出来ますように宜しく願ひいたします。

湖北まこも 川崎 誠一